

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-233663

(43)Date of publication of application : 10.09.1993

(51)Int.Cl.

G06F 15/26

(21)Application number : 04-069050

(71)Applicant : TEKUTO COMPUTER KK

(22)Date of filing : 18.02.1992

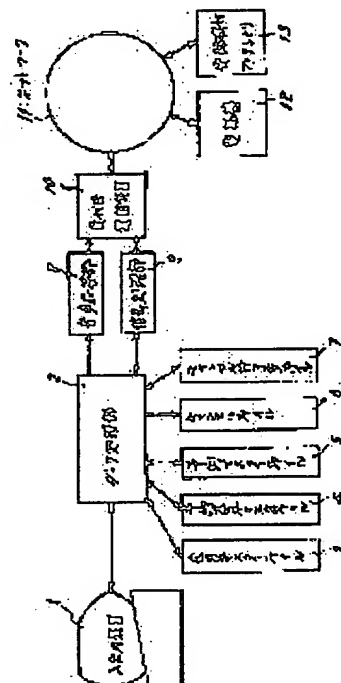
(72)Inventor : IKEDA MASANORI

## (54) RESERVED DATA PROCESSOR

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To provide the reserved data processor by which no trouble occurs by providing a means for receiving automatically a reservation by using a telephone from a user, and sending automatically a written reservation confirmation, a written cancel confirmation, etc., by a facsimile.

**CONSTITUTION:** This processor is constituted of an input/output device 1, a data processing part 2, a member master file 3, a reservation fundamental master file 4, a reservation master file 5, a cancel file 6, a cancel waiting master file 7, a voice answering part 8, a signal processing part 9, a receiving telephone equipment 10, a network 11, a user's telephone set 12, and a facsimile 13 with a telephone set, and provided with a means for transmitting an instruction from the data processing part 2 to a user in a voice, answering by depressing push-buttons of the telephone set 12 and the facsimile 13 by the user, by which a reservation procedure can be executed, and also, sending automatically a written reservation confirmation by the facsimile from the data processor 2 in accordance with a request of the user.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 12.05.1992

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 07.02.1995

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2772394

[Date of registration] 24.04.1998

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 07-04880

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 09.03.1995

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

2

特開平5-233663

(43) 公開日 平成5年 (1993) 9月10日

(51) Int. Cl. <sup>5</sup>

G 0 6 F 15/26

識別記号

庁内整理番号

8724-5L

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 1 (全 17 頁)

(21) 出願番号 特願平4-69050

(22) 出願日 平成4年 (1992) 2月18日

(71) 出願人 592064165

テクトコンピュータ株式会社

東京都杉並区善福寺2丁目27番15号

(72) 発明者 池田 真徳

東京都杉並区善福寺2丁目27番15号

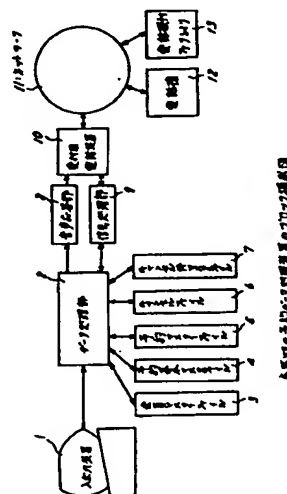
(74) 代理人 弁理士 熊谷 隆 (外1名)

(54) 【発明の名称】 予約データ処理装置

(57) 【要約】

【目的】 利用者から電話を使用して自動予約受付し、予約確認書、キャンセル確認書等をファクシミリで自動送付する手段を設け、トラブルの起きない予約データ処理装置を提供することを目的とする。

【構成】 本装置は入出力装置1、データ処理部2、会員マスターファイル3、予約基本マスターファイル4、予約マスターファイル5、キャンセルファイル6、キャンセル待マスターファイル7、音声応答部8、信号処理部9、受付用電話装置10、ネットワーク11、利用者の電話機12、電話機付きファクシミリ13で構成され、データ処理部2からの指示を音声で利用者に伝え、利用者は電話機12、ファクシミリ13のプッシュボタンを押下することで応答し予約手続きをすることが出来、また利用者の要求に従ってデータ処理装置2から予約確認書をファクシミリで自動送付する手段を設けた。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 受付側に利用者からの電話を受け付ける受付電話装置、該受付電話装置で受信した信号を処理する信号処理手段、利用者に音声で応答する為の音声応答手段と、申込みデータを処理するデータ処理手段及びデータ格納手段を設けると共に、電話回線や通信回線により利用者の電話機及びファクシミリと前記受付電話装置が接続できるよう構成され、利用者の要求に応じて、前記音声応答手段とを通して前記受付電話装置及び電話回線や通信回線を介して前記利用者に音声で指示を与えると共に、該指示に応じた該利用者の応答に応じて前記データ処理手段で予約確認書、申込書、キャンセル確認書、キャンセル空き連絡書、予約状況連絡書データを作成し、前記信号処理手段、前記受付用電話装置、前記電話回線や通信回線を介し前記利用者の電話機付きファクシミリ或るいは該利用者の指定するファクシミリへ自動送付することを特徴とする予約データ処理装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、公衆電話回線や通信回線に接続された電話機やファクシミリを利用した予約データ処理装置に関するものである。

## 【0002】

【従来技術】最近よく電話による予約受付が多く利用されている。従来の技術によると予約受付は受付側に情報処理装置を設け、利用者からの要求はプッシュボタンで行い、受付でその信号を処理し利用者への指示を音声で指示し、利用者はその指示に従って予約手続きを行う。乗車券、航空券、商品販売等の予約に利用されている。その他の方法では人手により台帳で予約受付を行っている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の方法では利用者からの申込みは電話で自動受付はするが予約確認書やキャンセル確認書等の送付がなく、このためトラブルが発生すると云う問題点があった。また利用者側から操作して現在の予約状況の確認をする事が出来ない等の問題点があった。また台帳による管理は人手が必要で誤りも多く、夜間の受付は人手の確保等の問題があり極めて困難な状況にあるという問題点もあった。

【0004】本発明は上述の点に鑑みてなされたもので、上記問題点を除去し、利用者から電話を使用して自動予約受付し、予約確認書、キャンセル確認書等をファクシミリで自動送付しトラブルの起きない予約データ処理装置を提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため本発明は予約データ処理装置を、受付側に利用者からの電話を受け付ける受付電話装置、該受付電話装置で受信

した信号を処理する信号処理手段、利用者に音声で応答する為の音声応答手段、申込みデータを処理するデータ処理手段及びデータ格納手段を設けると共に、電話回線や通信回線により利用者の電話機及びファクシミリと受付電話装置が接続できるよう構成され、利用者の要求に応じて、音声応答手段とを通して受付電話装置及び電話回線や通信回線を介して利用者に音声で指示を与えると共に、該指示に応じた利用者の応答に応じて前記データ処理手段で予約確認書、キャンセル確認書、申込書、キャンセル空き連絡書、予約状況連絡書データを作成し、信号処理手段、受付用電話装置、電話回線や通信回線を介し利用者の電話機付きファクシミリ或るいは利用者の指定するファクシミリへ自動送付することを特徴とする。

## 【0006】

【作用】本発明では、上記手段によりデータ処理手段からの指示を音声で利用者に伝え、利用者は電話機やファクシミリのプッシュボタンを押下することで応答し予約手続きをすることが出来るので受付の人手が省力され、言語の異なる外国へ手続きをする場合は言語の煩わしさが解消され、夜間の受付も可能となる。利用者の要求があれば、データ処理部で作成された予約確認書を信号処理部、受付用電話装置、電話回線や通信回線を介し利用者の電話機付きファクシミリや指定するファクシミリへ自動送付することが出来る。

## 【0007】

【実施例】以下本発明の実施例をカントリークラブの予約データ処理装置を例に説明する。図1はカントリークラブの予約データ処理装置のシステム構成を示すブロック図である。予約データ処理装置はカントリークラブ側に、入出力装置1、データ処理部2、会員マスターファイル3、予約基本マスターファイル4、予約マスターファイル5、キャンセルファイル6、キャンセル待マスターファイル7、音声応答部8、信号処理部9、受付用電話装置10を設け、該受付電話装置10に公衆ネットワーク11、利用者の電話機12、電話機付きファクシミリ13・・・から接続されるようになっている。

【0008】図2は本予約データ処理装置で使用する会員マスターファイル3、予約基本マスターファイル4、予約マスターファイル5、キャンセルファイル6及びキャンセル待マスターファイル7である。会員マスターファイル3はメンバーコード、暗証番号、会員名等からなるレコードをもち、受付時の照合に使う。なお、会員制度を採らない場合はこの会員マスターファイルは必要はない。

【0009】予約基本マスターファイル4は、予約日の日付け、休場か否かの区別、7時から10時迄を40等分した区分(1区分は6分)を設け、各区分毎に更にOUTコース、INコースに分け、申込みに従ってスタート区分、競技区分、空き人数を記入し管理する。また別

に予約マスターファイル5を設け申込みスタートの年月日時分コース、メンバーコード、メンバー名、総人数等のデータを格納する。

【0010】キャンセルファイル6は申込みのキャンセルを管理するためのファイルで、キャンセルするプレーの年月日時分、コース、メンバーコード、人数、スタート区分、競技区分、キャンセル発生時刻等を格納する。

【0011】キャンセル待マスターファイル7はキャンセル待ちを管理する為のファイルで、キャンセル待年月日時分スタート区分、人数、ファクシミリ番号、電話番号、メンバー名、キャンセル連絡時刻等を格納する。

【0012】図3は本予約データ処理装置のデータ処理フローを示す図である。図3において、予約を希望する利用者は電話機12又は電話機付きファクシミリ13等から受付用電話装置10へ電話をかける。それにより信号処理部9は着信処理を行いデータ処理部2を起動する。

【0013】データ処理部2が起動されると、先ず「こちらは〇〇カントリークラブです。自動受付を行います。」等のデータを音声応答部8に送り受付用電話装置10より公衆ネットワーク11を通し前記利用者に電話機12又は電話機付きファクシミリ13で音声で応答する。続いて「回線のチェックを行いますので“\*”と“#”ボタンを続けて押して下さい。」と回線チェックするための操作を指示する(ステップST101)。利用者は指示に従ってプッシュボタンを押下する。このように以降の操作はデータ処理部2からの指示を音声で利用者に伝え、利用者は電話機12、ファクシミリ13のプッシュボタンを押下することで応答し予約手続きを進行していく。

【0014】信号処理部9で“\*”ボタン信号と“#”ボタン信号を受信し回線がプッシュ回線か否かを判定し(ステップST102)、回線がプッシュ回線でなければ回線使用不可を返答し(ステップST115)、自動受付を終了する(ステップST114)。プッシュ回線であれば回線確認したことを返答する(ステップST103)。なお“#”ボタンは利用者からの1回の応答の最後の区切りを示す。

【0015】続いて会員番号の入力を音声で指示し(ステップST104)、利用者からの会員番号の入力の後、続いて暗証番号の入力を音声で指示する(ステップST105)。会員番号及び暗証番号を会員マスターファイル3で確認し(ステップST106)、確認できれば確認したことを使用者に音声で返答する(ステップST107)。

【0016】確認出来なかった場合、会員番号、暗証番号が確認不能であることを返答し(ステップST116)、再入力するときは“1”、“#”を、終了させる場合は“9”、“#”を押下することを指示する(ステップST117)。

【0017】再入力の“1”、“#”の場合ステップST104から繰り返し番号を入力する。“9”、“#”の場合は自動受付を終了する(ステップST114)。その他の場合は利用者の操作ミスと見做し誤操作対応処理(後述、ステップST119)の後入力を繰り返す。

【0018】番号確認に続いて申込みの用件を尋く。予約の申込みには“1”、“#”を、キャンセルする場合には“2”、“#”を、キャンセル待ちの予約には“3”、“#”を、現在の予約状況問い合わせには“4”、“#”ボタンを押下することを指示する(ステップST108)。

【0019】利用者からの入力を判定し(ステップST109)、“1”、“#”の場合は予約受付処理(ステップST110)、“2”、“#”の場合はキャンセル受付処理(ステップST111)、“3”、“#”の場合はキャンセル待ち予約受付処理(ステップST112)、“4”、“#”の場合は現在の予約状況問い合わせ処理(ステップST113)を行う。(何れも後述する。)

20 【0020】指定された処理を終えた後、自動受付終了を宣言し電話回線等の終了操作をする(ステップST114)。

【0021】図4は図3の予約受付処理(ステップST110)のフローを示す図である。予約受付処理を図4に従って説明する。先ず「ご予約を受け付けます」等の予約受付をする旨のメッセージを送り、希望する予約月、日の入力を指示する(ステップST201)。利用者からの入力データを予約基本マスターファイル3と照合し(ステップST202)、受付範囲でなければその月日は受付を行っていないことを返答し(ステップST220)終了する。

30 【0022】予約受付の範囲であれば、予約人数、ピジタの人数の入力を指示する(ステップST203)。続いて希望時間帯の入力を指示する(ステップST204)。入力されたデータを予約基本マスターファイル3と照合し、希望の日が空いているか、空いていないか、休日か、イベント開催日か、誤って2重に予約していないか等を判定する(ステップST205)。

【0023】希望の日が空いている場合、指定された空いている月、日、時間帯、コース等を返答し(ステップST206)、確認を指示し、間違いなければ予約を確定し予約基本マスターファイル3と予約マスターファイル4にデータを格納する。(ステップST207)。利用者に予約確認書(図9参照)を送るため現在使用中の電話にファクシミリが付いているか尋く(ステップST208)。使用者の返答をチェックし(ステップST209)、ファクシミリがあれば確定した予約内容を図9のように予約確認書としてファクシミリで利用者に送付する(ステップST210)。

50 【0024】ファクシミリのない電話であれば予約確認

書（図9参照）が必要か否かを尋き、必要であれば送付先ファクシミリ番号の入力を指示し、入力された送付先ファクシミリ番号を確認し（ステップST212）終了する。予約確認書（図9参照）は別途該当する番号のファクシミリに送付される。

【0025】希望の日が空いていない場合（ステップST205）、空きのないことを返答し（ステップST213）、キャンセル待ちをするか否かを尋く（ステップST214）。キャンセル待ちをする場合、キャンセル発生時に利用者に連絡する方法を尋き（ステップST215）、ファクシミリ連絡か電話連絡かを判定し（ステップST216）、ファクシミリの場合はファクシミリ番号の入力を指示し確認し（ステップST217）、電話連絡の場合もその電話番号の入力を指示し確認する（ステップST218）。月日、会員番号、連絡方法等今迄のデータをキャンセル待マスターファイル7に格納し（ステップST219）終了する。

【0026】希望の日が丁度休日やイベント開催日に重なった場合、或いは誤って2重予約しようとした場合は各々に応じた返答をして（ステップST221）終了する。

【0027】図5は図3のキャンセル受付処理（ステップST111）のフローを示す図である。キャンセル受付処理を図5に従って説明する。先ず「キャンセルの受付を行います」等のキャンセル受付をする旨のメッセージを出力し（ステップST301）キャンセルされる月、日の入力指示をする（ステップST302）。利用者から入力されたデータが間違いないか予約基本マスターファイル4及び予約マスターファイル5と照合し判定する（ステップST303）。

【0028】指定された予約が見つかった場合、月日、コース、人数等の予約内容を確認する（ST304）。利用者の確認了解の返答を受け（ステップST305）キャンセルファイル6に格納し、予約基本マスターファイル4及び予約マスターファイル5に格納されているデータのキャンセル手続きをする（ステップST306）。

【0029】利用者にファクシミリ番号の入力を指示し図10のキャンセル確認書が必要か否かを尋く（ステップST307）。キャンセル確認書（図10参照）が必要な場合は（ステップST308）ファクシミリでキャンセル確認書（図10参照）を送付し終了する。

【0030】指定された予約が見つからない場合、利用者に指定の予約が無いことを返答し（ステップST310）、再入力するか否かを聞く（ステップST311）。再入力しない場合（ステップST312）は終了する。再入力する場合は、最初（ステップST301）から繰り返す。再入力4回目になると規定回数を超過したことを返答し（ステップST313）終了する。

【0031】予約受付処理でキャンセル待マスターファ

イル7に格納されたデータ（ステップST219）と、キャンセルファイル6に格納されたデータ（ステップST306）と照合し合致しているものがあればキャンセル待ち利用者に指定された連絡方法で連絡する。ファクシミリがあれば図11に示すキャンセル空き連絡書を送付し連絡する。

【0032】図6は図3のキャンセル待ち予約受付処理（ステップST112）のフローを示す図である。このキャンセル待ち予約受付処理は上記連絡を受けた利用者が予約受付するためのものである。図6に従って説明する。先ず「キャンセル待ちの方の予約受付を行います」等のキャンセル待ち予約受付をする旨を出力し（ステップST401）、本人がキャンセル待ちであることの確認、連絡してから時間をチェックする。

【0033】一致すれば（ステップST402）、月日、時間帯、コース等を応答し予約するか否かを尋く（ステップST403）。確認の後予約手続きをし（ステップST405）、予約確認書をファクシミリで送付するためファクシミリ番号を入力指示する（ステップST405）。予約確認書が無用な場合は（ステップST406）終了し、必要な場合はファクシミリで予約確認書を送付し（ステップST407）終了する。

【0034】キャンセル空きを連絡していない利用者の場合（ステップST402）、キャンセル空きの連絡を当人にしていないことを告げ（ステップST408）、通常の予約方法を案内し（ステップST409）終了する。

【0035】キャンセル空きを連絡してから24時間以上経過している場合（ステップST402）、受付時間超過のため受付不可を返答し（ステップST411）終了する。キャンセルが無い場合（ステップST402）、キャンセルが無い場合キャンセル待ち予約が出来ないことを告げ（ステップST410）終了する。

【0036】図7は図3の予約状況問い合わせ処理（ステップST113）のフローを示す図である。予約状況問い合わせ処理を図7に従って説明する。先ず「現在の予約状況をお知らせします」等の予約状況告知する旨のメッセージを出力し（ステップST501）、現在使用中の電話にファクシミリが付いていることを確認し（ステップST502）ファクシミリへ図12の現在の予約状況を送出する。

【0037】図8は利用者がプッシュボタンの操作を誤ったときの誤操作対応処理フローを示す図である。先ず「お押しになった番号は間違っています」と利用者に誤操作であることを告げるメッセージを出力する（ステップST601）。続けて4回の誤操作をすると（ステップST602）規定回数超過の為打ち切ることを告げ（ステップST603）自動受付の終了を宣言し電話回線等の終了処理をする（ステップST604）。

【0038】なお上記説明の予約書、キャンセル確認

書、キャンセル空き連絡書、現在の予約状況連絡書の他に、利用者の要求により図13のプレー申込書をファクシミリで送付し、それに記入して送り返し申込みをすることもできる。

【0039】上記実施例ではカントリークラブの予約データ処理装置を例に説明したが、本発明の予約データ処理装置はこれに限定されるものではなく、例えば列車や船舶の指定券、航空券等予約確認書、キャンセル確認書、申込書、キャンセル空き連絡書、予約状況連絡書データを利用者の要求に応じて、利用者の電話機付ファクシミリや指定するファクシミリに送信することが要求される予約情報処理に利用できる。

【0040】

【発明の効果】以上、詳細に説明したように本発明によれば、下記のような効果が期待される。データ処理部からの指示を音声で利用者に伝え、利用者は電話機のプッシュボタンを押下することで応答し予約手続きをすることが出来るので受付の人手が省力され、言語の異なる外国へ手続きをする場合は言語の煩わしさが解消され、また夜間の受付も可能となる。また、利用者の要求があれば、予約確認書、申込書、キャンセル確認書、キャンセル空き連絡書、予約状況連絡書データを処理部で作成し、信号処理部、受付用電話装置、電話回線や通信回線を介し電話機付きファクシミリや指定されたファクシミリに自動送付される為、間違いも少なく安心して利用することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の予約データ処理装置のシステム構成ブロック構成図である。

【図2】本発明の予約データ処理装置で使用するファイルを示す図である。

【図3】本発明の予約データ処理装置のフローを示す図

である。

【図4】予約受付処理のフローを示す図である。

【図5】キャンセル受付処理のフローを示す図である。

【図6】キャンセル待ち予約受付処理のフローを示す図である。

【図7】現在の予約状況問い合わせ処理のフローを示す図である。

【図8】誤操作対応処理のフローを示す図である。

【図9】ファクシミリで送付される予約確認書の例を示す図である。

【図10】ファクシミリで送付されるキャンセル確認書の例を示す図である。

【図11】ファクシミリで送付されるキャンセル空き連絡書の例を示す図である。

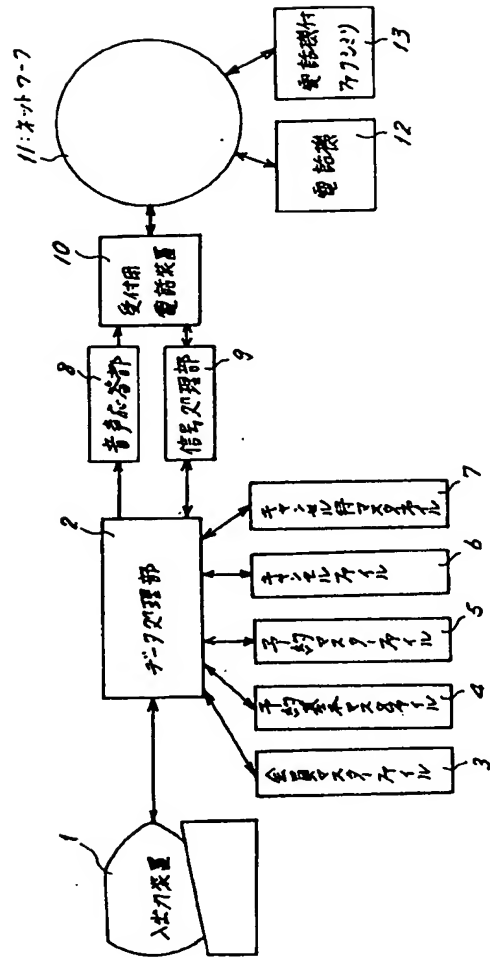
【図12】ファクシミリで送付される現在の予約状況連絡書の例を示す図である。

【図13】ファクシミリで送付されるプレー申込書の例を示す図である。

【符号の説明】

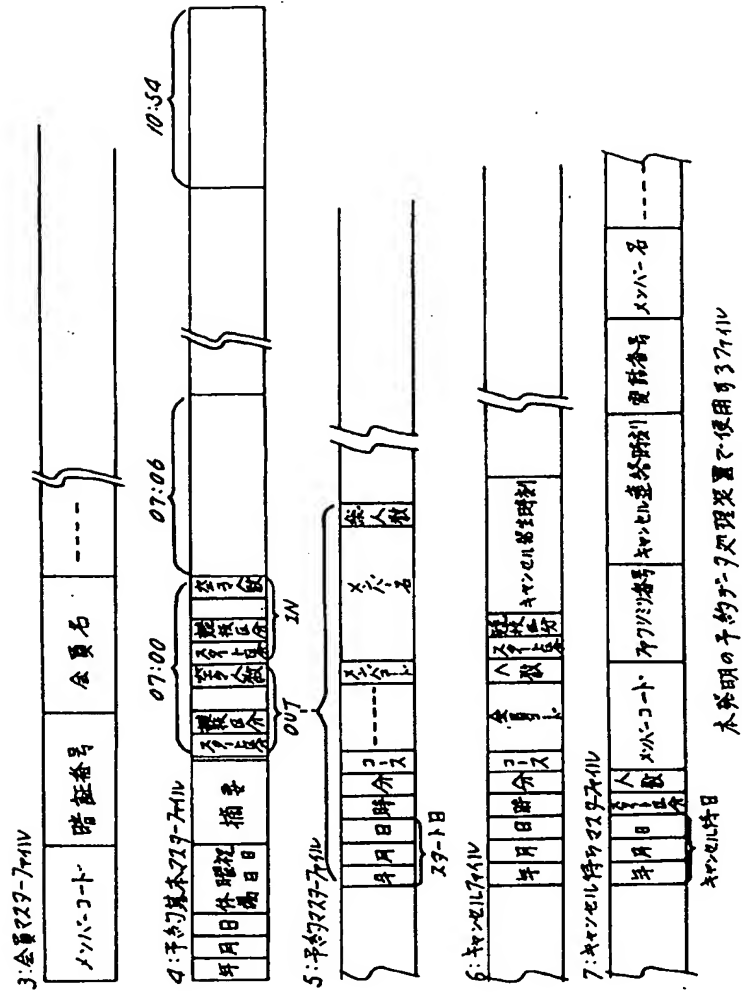
1	入出力装置
2	データ処理部
3	会員マスターファイル
4	予約基本マスターファイル
5	予約マスターファイル
6	キャンセルファイル
7	キャンセル待マスターファイル
8	音声応答部
9	信号処理部
10	受付用電話機
11	ネットワーク
12	電話機
13	電話機付きファクシミリ

【図1】



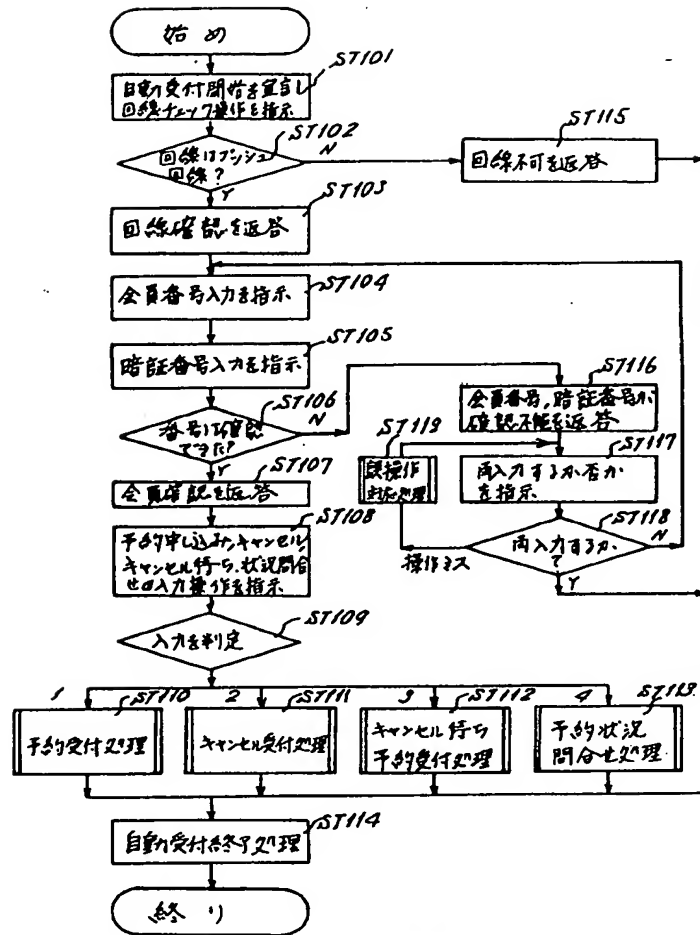
本発明の予約デジタル処理装置のブロック構成図

【図2】



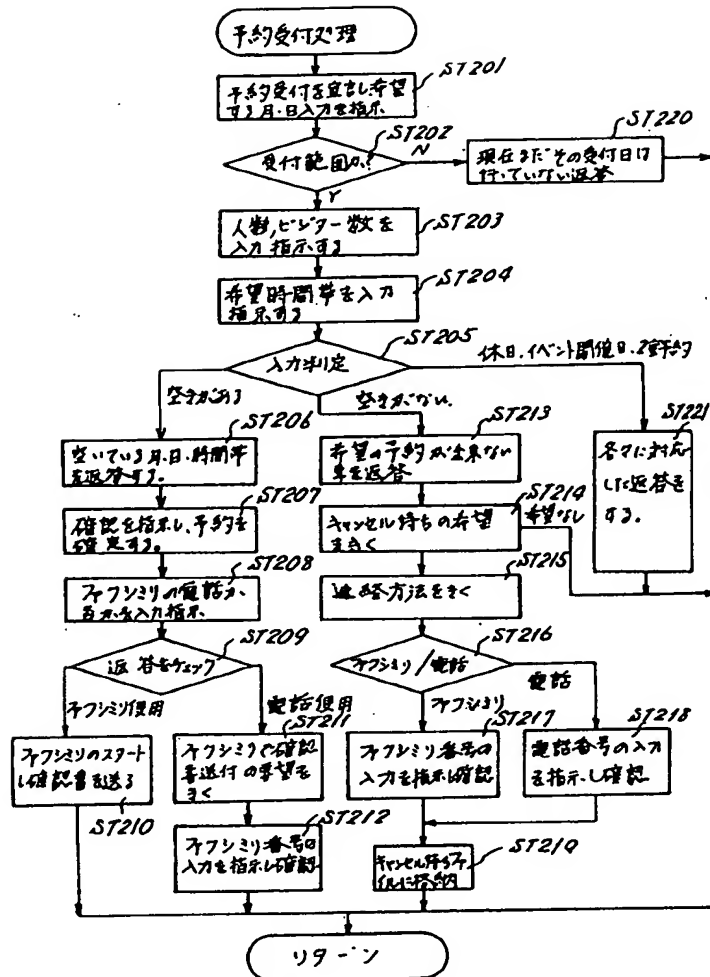


【図3】



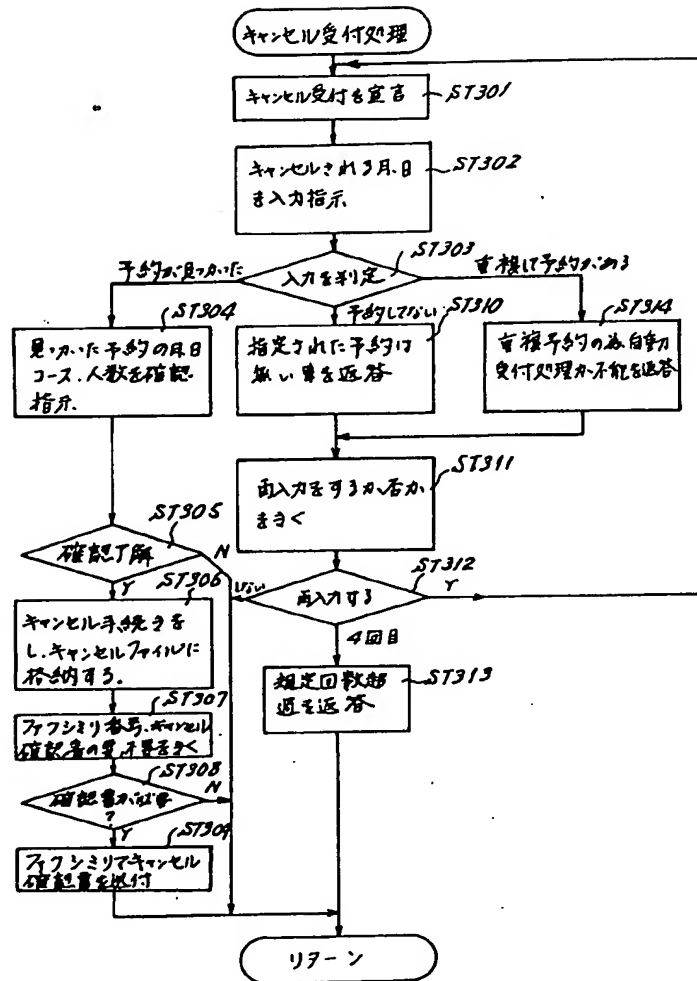
本発明の予約データ処理装置のフローチャート

【図4】

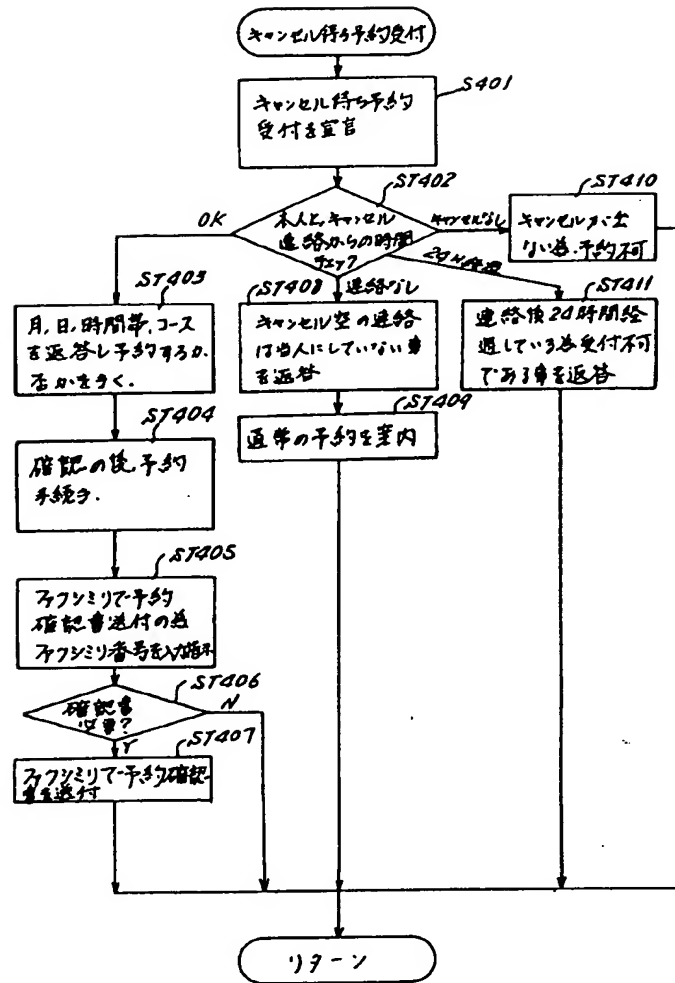


予約受付処理のフローチャート

【図5】

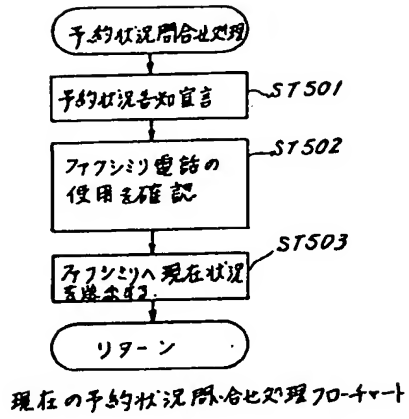


【図6】

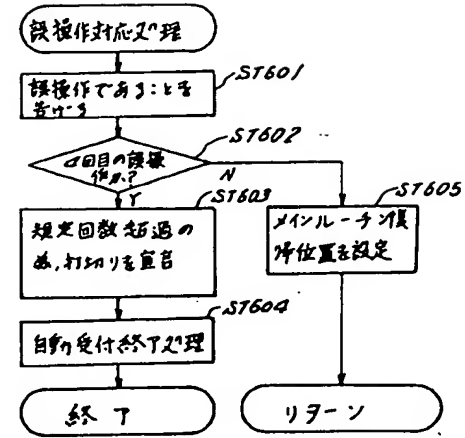


キャンセル待ち予約受付処理のフローチャート

【図7】



【図8】



【図9】

\*\*\*\*\*予約確認\*\*\*\*\* 91.05.10 20:15

○○○殿

XXカントリークラブ

凡例のご予約は以下の通り受け取りましたのでご確認下さい。  
尚、本日はご来場の日まで施設に保存していただきませうお願ひ申し上げます。

プレー日	5月19日(日)
スタート時間	09:18
人数	4名様(メンバー1名 ビジター3名)
コース	グリーンコース
備考	メンバー同伴必要

万一、予約内容に誤りがある場合には、ご予約をキャンセルした後、再度お申込をお願ひします。キャンセルのご連絡がないまま当日ご来場がない場合には、後日プレー費のご請求をいたします。予めご了承下さい。

連絡終了

ファクシミリで送付される予約確認書

【図10】

\*\*\* キャンセル確認 \*\*\* 91.05.10 20:15

〇〇〇 殿

XXカントリークラブ

貴殿のキャンセルを以下の通り受け取りましたのでご確認ください。  
尚、本番は本日より1カ月間、保存して頂きます様お願い申し上げます。

プレー目

5月16日 (水)

スタート時間

08:18

人数

4名様 (メンバー1名 ビジター3名)

コース

OUTコース

備考

万一、キャンセル内容に誤りがある場合には、翌営業日にお電話をいただきます様お願い申し上げます。

連絡終了

フアクシミリで送付されるキャンセル確認書

## 【図11】

***キャンセル空き連絡***		91.05.10 22:10
〇〇〇 殿                      X X カントリークラブ		
下記のキャンセルが出ましたのでご連絡いたします。 プレーご希望の方は、早急にお申込み下さいます様お願い申し上げます。		
キャンセル日	5月15日(水)	
スタート時間	09:18	
人数	4名様	
コース	OUTコース	
本書は、キャンセル待ちの方に対するキャンセル発生の連絡です。従って、上記のスタートは未だ貴殿に対してお取りできたものではありません。		
上記のスタートを予約ご希望の方は、自動予約に「キャンセル空き予約」としてお申込下さい。自動予約では、本書を送付してから24時間の間、貴殿に対して上記スタートを確保していますが、24時間を経過した時点で自動的に確保を取消します。従って、ご予約は早急をお願いいたします。		
連絡終了		

ファクシミリで送付されるキャンセル空き連絡書



【図12】

\*\*\* 現在の予約状況 \*\*\*  
91年5月10日 20時15分時点での予約状況です。

XXカントリークラブ

月	日	曜	組(4人)	組(3人)	組(2人)	1人	備 考
5	11	土	0	1	0	10	M14作必要
	12	日	*	*	*	*	開場記念杯
	13	月	3	1	1	20	
	14	火	*	*	*	*	休場
	15	水	1	2	1	20	
	16	木	2	3	1	20	
	17	金	2	1	2	20	
	18	土	0	1	1	5	M14作必要
	19	日	*	*	*	*	月例会
	20	月	3	4	0	20	
	21	火	*	*	*	*	休場
	22	水	2	2	1	20	
	23	木	6	3	0	20	
	24	金	1	1	0	20	
	25	土	0	1	1	15	M14作必要
	26	日	0	1	0	12	M14作必要
	27	月	5	2	0	20	
	28	火	*	*	*	*	休場
	29	水	2	1	1	20	
	30	木	4	0	0	20	
	31	金	8	1	2	20	
	1	土	1	0	1	12	M14作必要
	2	日	0	1	1	10	M14作必要
	3	月	12	2	2	20	
	4	火	*	*	*	*	休場
	5	水	6	2	2	20	
	6	木	8	1	3	20	
	7	金	11	1	0	20	
	8	土	2	1	0	12	M14作必要
	9	日	2	1	0	13	M14作必要

ご予約は内助予約をお願いします。  
内 助 予 約      03-3226-4787  
内助予約は24時間受付しています。  
ご連絡  
最近特に「キャンセル」の連絡をされない方が増えております。「キャンセル待ち」の方が大勢いらっしゃいますので、キャンセルの場合には早急にご連絡下さいます様、お願いいたします。尚、キャンセルの受付も、上記自動予約にて24時間中受け付けています。早朝・夜間・休日を問わずご連絡をお願いします。      連絡終了

ファクシミリで送付される現在の予約状況連絡書

【図13】

*** プレー申込書 ***				92.01.07 15:07
総代カントリークラブ				
北コース 宛				
予約番号	: 1 0 0 0 2 8			
プレー日	: 0 2 月 0 1 日 (土) 9 H 限定			
スタート時間	: 0 8 時 5 1 分			
人数	: 4 名様 (メンバー 0 名)			
M・V				
①受付番号	氏名	住所	TEL	
M・V				
②受付番号	氏名	住所	TEL	
M・V				
③受付番号	氏名	住所	TEL	
M・V				
④受付番号	氏名	住所	TEL	
・メンバーはM ビジターはVに○ ・メンバーの場合は受付番号を記入 代表者は、必ず①にご記入下さい。				
上記にご記入し01月09日迄に下記宛へFAXをお願いします。				
尚、上記期限迄に送付されない場合はキャンセル扱いとさせていただきますので、予めご了承下さい。				
FAX 番号	: 0 0 0 0 - 0 0 - 0 0 0 0			
自動予約	: 9 9 9 9 - 9 9 - 9 9 9 9			
フロント	: 9 9 9 9 - 9 9 - 9 9 9 9			
				連絡終了

ファクシミリで送付されるプレー申込書